



～リーガルネットワークスHPにてニュースレターバックナンバーも公開しています～

クラウド勤怠管理システムAKASHI 便利な機能紹介

＼ 時間外労働の上限違反にならないために！ ／ 36(サブロク)協定機能を活用しましょう

■ 利用手順 ■

1. 設定 > (基本) 36協定設定メニューを開き、「36協定追加」ボタンを押します。
2. 【36協定】タブにて、各項目について設定します。
3. 【アラートタブ】にて、アラート閾値設定を行います。

36協定変更

36協定 アラート

36協定の内容を設定することで、36協定に応じたアラートを設定できます。

起算月度: 2022年04月度

勤務地: 本社

基準とする時間外労働: 月間法定労働時間外時間(法定休日以外)及び月間法定休日労働時間

延長することができる時間数

1箇月の法定労働時間を超える時間数	1年の法定労働時間を超える時間数	原則的な上限値です。
45:00 以下	360:00 以下	

① 原則の上限

特別条項における延長することができる時間数

1箇月の法定労働時間を超える時間数	1年の法定労働時間を超える時間数	
100:00 未満	720:00 以下	

※法定休日労働を含みます。 ※法定休日労働は含みません。

2～6箇月の法定労働時間を超える時間数の平均

80:00(固定)

※法定休日労働を含みます。

特別条項発動後の上限値です。

② 臨時的な事情で労使協定で締結した場合の上限

36協定変更

36協定 アラート

36協定に応じたアラートの通知方法や通知タイミングを設定します。

通知方法

画面通知 (管理者Top/出勤簿) 通知する 通知しない

メール通知 通知する 通知しない

通知タイミング

協定時間超過前 ※協定で定めた法定外残業の延長できる時間の残時間に対して通知します。
 検知する 検知しない

協定時間超過後 ※特別条項で定めた法定外残業の延長できる時間の残時間に対して通知します。
 検知する 検知しない

2～6ヶ月平均 ※2～6ヶ月間の法定外残業時間のそれぞれの平均の全てを80時間と比較して通知します。
 検知する 検知しない

フレックスタイム制のアラート

比較する時間: 法定労働時間を基準に判定する

時間外労働や休日労働に従業員にさせる場合、毎年「36協定」を締結し届け出ることを忘れずに実施してください！



リーガルネットワークスよりお知らせ

- オリジナルAKASHI学習テキスト準備中！！
- 36協定届無料診断実施中！

実運用編 ～36協定管理～

AKASHI設定時の注意点やポイントだけでなく、時間外労働の上限規制違反にならないための適正管理に関する労務基礎知識も学ぶことができます！

先着5社限定！
36協定届
無料診断

詳しくは、
お問い合わせ
ください！